

トラックづくりのすべてにわたって、環境への配慮を徹底。



■ トヨタがめざす「トータルクリーン」

トヨタは「トータルクリーン」を基本理念に、環境に配慮したクルマづくりを進めています。生産から廃棄にいたるトータルライフの視点により、環境への取り組みのひとつひとつをすべての過程で連携。さまざまな環境目標をバランスを取りながら達成することで、総合的に環境性能の向上を図り、クリーンなクルマづくりをめざします。

■ 地球温暖化対策の実施

- 温室効果ガスであるCO₂排出量の低減をめざして、軽量・高効率なエンジンを搭載。また、ハイブリッドシステムの採用などにより、優れた低燃費を達成しています。

- エアコンの冷媒充填量を低減しています。

■ 環境負荷物質の削減

鉛、水銀、カドミウム、六価クロムを削減し、業界目標を達成しています。

■ VOC※2の低減を推進しています。

内装部品の素材、加工法、接着剤の見直しにより、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンなどの揮発性有機化合物(VOC)の発生量を抑制。車室内の臭いや刺激臭を軽減するとともに、厚生労働省が定めている「室内濃度指針値」※3を下回るレベルとし、業界自主目標を達成しています。

■ トヨタではLCAにより相対的な環境メリットを確認することを目的としているため、実施結果は指数で示しています。

■ LCA(ライフサイクルアセスメント)※4の実施

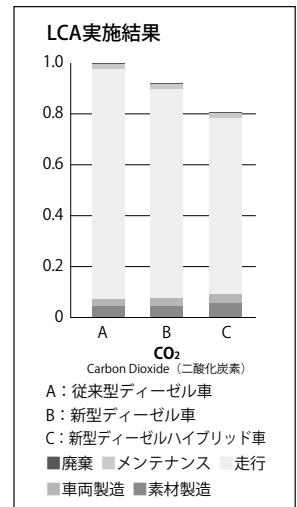
走行段階だけでなく、トラックの生産・使用から最終的に廃棄するまでの全ライフサイクルで、環境への負荷を把握するのがLCA(ライフサイクルアセスメント)。トヨタでは、その観点から、排出するCO₂やその他の大気汚染物質の総量を従来型車に比べて低減しています。

■ 都市環境のクリーン化に配慮

ディーゼル車は新高性能触媒DPR-IIの採用により、排出ガスのクリーン化を推進。その結果、「平成28年(ポスト・ポスト新長期)排出ガス規制」に適合しています。

■ リサイクル性の向上へ

インストルメントパネルやメータークラスター、グローブボックスドアなど内装部品にリサイクル性に優れた樹脂TSOP※5を使用しています。



環境仕様

車両仕様	車両			ディーゼル車					ハイブリッド車		
				DPR-II搭載車							
排出ガス記号				2RG-	2PG-	2KG-		2SG-			
エンジン	型式			N04C-WD	N04C-WD	N04C-WD	N04C-VU	N04C-WE			
	総排気量 (L)			4.009							
	使用燃料			軽油							
駆動装置	駆動方式			2WD		2WD		4WD	2WD		
	変速機			6速MT	6速AT	6速MT	6速AT	5速MT	6速MT		
CO ₂ 排出量 (g/km)	車両総重量 3.5トン超 7.5トン以下	最大積載量	1.5トン超2.0トン以下	227	227	235	—	244	244		
		2.0トン超3.0トン以下	244	244	254	—	264	261	202		
		3.0トン超4.0トン以下	—	—	297	294	—	315	244		
	7.5トン超 8.0トン以下	—	—	323	327	—	—	349	—		
排出ガス	適合規制			平成28年(ポスト・ポスト新長期)排出ガス規制※6							
	WHDCモード 認定レベル (g/kWh)	NOx		0.4							
		NMHC		0.15							
		PM		0.007							
環境情報	車外騒音		規制適合(規制値)		平成28年騒音規制※7フェーズ1(加速騒音:77dB-A[4WD車は78dB-A])						
	冷媒の種類 HFC-134a/使用量 (g)		標準キャップ※8	400		400	400	—	400		
			ワイドキャップ※9	500/ 400(ダブルキャップ)	500		400	400	500		
環境負荷物質削減	鉛		自工会2006年自主目標達成(1996年時点の1/10以下※10)								
	水銀		自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止※11)								
	カドミウム		自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)								
	六価クロム		自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)								
車室内VOC			自工会自主目標達成(厚生労働省室内濃度指針値※3以下)								
リサイクル関係	リサイクルしやすい材料(TSOP)を使用した部品			インストルメントパネル、メータークラスター、グローブボックスドア、フロアコンソール、クオータトリムボードなど							
	樹脂、ゴム部品への材料表示			あり							

※1. Eco-VAS[エコバス] : Eco-Vehicle Assessment System. 車両開発責任者が企画段階で生産、使用、廃棄にいたるLCA(ライフサイクルアセスメント)の考え方を踏まえた環境目標値を設定。全開発プロセスを通じて目標達成状況をフォローして、確実な達成を図る総合的な環境評価システムです。

※2. VOC : Volatile Organic Compounds(揮発性有機化合物) ※3. 厚生労働省が2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値。

※4. LCA : Life Cycle Assessment. 資源採取～廃棄・リサイクルまでの各段階で、クルマが環境に与える要因を定量化し、総合評価する手法でISO14040シリーズで国際標準化されています。

※5. TSOP : Toyota Super Olefin Polymer ※6.WHDCモード ※7.技術的最大許容質量が3.5トンを超えるもので最高出力が135kW以下のもの。 ※8.リヤクーラー付は750g。 ※9.リヤクーラー付は850g。 ※10.1996年乗用車の業界平均1,850g(リヤテリーを除く)。

※11.交通安全の観点で使用する部品(ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンピューターメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯)を除く。